

夏越の大被のご案内

拝啓 時下益々ご清祥の事と存じ上げます。

皆様には平素よりの格別のご高配を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず罹患されました方には衷心よりお見舞い申し上げますと共に一日も早いご快復を心よりお祈り申し上げます。全国への緊急事態宣言発令に伴い、当宮でも、感染拡大の防止に務めております。例年六月三十日に斎行しております「夏越の大被」につきまして、本年は感染拡大防止に鑑み、皆様の参列をご遠慮して頂くようお願い申し上げます。また、今年の「茅の輪くぐり」につきましては、左記の通りの対応をさせて頂きます。当日の神事につきましては、新型コロナウイルスの一日も早い終息と疫病退散の願いを込めて神職が厳肅にご奉仕致し、皆様からお預かりしました人形は真心を込めてお清めさせて頂きます。ご参拝の皆様にはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「大被について」

日本人は古来、季節ごとに御被いをしてきました。節分の豆まきや雛祭もそのひとつです。中でも「夏越の大被式」は奈良時代から現在に至るまで続けられている神事です。酷暑により心身が疲れたり、気力が衰えるなどして、病気や疫病などの災難を受けやすくなる為、罪穢を祓い去り、新たな清々しい気持ちで残る半年の生活を切り開いて行けるよう祈願する神事です。 敬具

記

一、日時 六月三十日(火)午後二時 夏越大被式神事 ※この日、茅の輪はございません。

「茅輪くぐり」 七月一日(水)〜七日(火) 午前五時半〜午後五時

※七月一日より境内に「茅輪」を設置致しますので、人と人との間隔を空けて、混雑を避けて「茅輪くぐり」を行って頂くようお願い申し上げます。尚、今後の状況次第では茅の輪の設置そのものを中止させて頂く場合がございます。その際はホームページにてお知らせ致します。

一、場所 藤崎八幡宮 回廊内境内(拝殿前)

ひとかた

人形の扱い方

- 一、まず人形に氏名・年齢を記入して下さい
- 一、次に頭から手足まで全身を撫でて悪しきものをすべて人形に移して下さい
- 一、最後に人形に息を三度吹きかけて下さい
- 一、申込封筒に住所・氏名を記入し、人形を同封しお送り下さい

※人形につきましては、別添の透明袋にお入れ頂き、セロテープで封をして、返送頂くようお願い申し上げます。



① 「人形」は六月三十日まで必着するようお送り下さい(余った人形は同封願います)

② ご返送頂きました方々には後日、夏越大被の御神札をお送りいたします

③ 「人形」が足りない場合は、一枚に二〜三名ご記入下さい

④ 同居されていないご親族の方をご記入頂いても結構です

※お気持ちにより初穂料をお納めの方は同封の振替用紙をご利用下さいませ